

## 臨時休業延長から学ぶこと

三郷市立南中学校444名の生徒の皆さん、並びに保護者の皆様、日差し眩しく、過ごしやすい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。昨日からの学校再開を望んでおりましたが、願いは叶わず、5月31日まで臨時休業の延長となりました。残念な想いをもちつつ、現実を受け止めながら、今できること、今しなければならぬことを、先生方と真摯に話し合いながら、昨日を終えました。

さて、世の中では、オンライン授業やzoomを使った学級活動の実践等が報告され、様々な識者もその必要性を説いています。また、コロナ禍が過ぎ去った後は、今まで通りの日常を望むのではなく、新たな時代に何が必要なのか、真剣に考え実践していく必要性も論じられています。私も、具体的な未来像は思い描きませんが、納得できる面も多々あります。しかしながら、全ての家庭、生徒にスマホやタブレット、Wi-Fiが整っていない現実を知りながら、とりあえず、できる家庭、生徒で・・・の考えには共感できません。上述の実践は、大阪市のようにすべての家庭にタブレットを供給するとなったら、適切に実践すべき取組と考えていますが、今、背伸びをするときではないと考えている一人です。

そんな中、本校生徒のために本当に必要なことは・・・と考えたときに、多くの先生方が、直接会って話をする事、悩みを聞くこと、そして希望を持たせることと、異口同音にしてくれました。

本校では、来週から徹底して三密を回避し、一人5分程度ですが、個人面談を行います。担任の先生に、素直な気持ちで、自分の悩みや弱さを言える関係を、南中学校では大切にしていきます。

保護者の皆様、臨時休業三カ月目となりました。様々な御苦勞、御心配が続くと思いますが、5月31日まで、我が子の生活、学習支援をよろしく願いいたします。相談ごと等ございましたら、学校に連絡をしていただいて結構です。手を携えて、子供の自律を支援していきましょう。

「発した言葉がその人を作ります。ささくれた言葉で、自分自身を汚さないように。心でコロナウイルスに負けてはいけません。(藤井隆彦氏 日テレアナウンサーの言葉)

令和2年5月8日

三郷市立南中学校長 広木 友和